

4-2 エゴグラムSHEとは

・学校のエゴグラムと家庭のエゴグラムを比較するツール

- ・アセスメントの幅が広げ、生徒をより深く理解できる
※アセス・B-SAFEとの照らし合わせは更に効果的
「学校要因」と「家庭要因」の分析(仮説をつくる)
↓
- ・チーム学校としてより多くの情報で的確なアセスメントへ
・背景を踏まえた個別の生徒支援策の作成
(そのうえで、途中から保護者や本人をチームのメンバーに組み入れ、当事者意識を持たせた中で育てていく)
↓
- ・教育で生徒のWell-beingを、本気で考え実践を目指す

「学校の自分(左)」と「家庭の自分(右)」を回答する。

(1) エゴグラムSHE チェック・リスト 《学校版S》

(2) エゴグラムSHE チェック・リスト 《家庭版H》

著作権の関係から非表示とします

必要な方は、各自で書籍を購入してご確認ください。

「自尊感情を育てるエゴグラムSHE活用ガイド」

日本交流分析協会附属

TA学校教育心の開発研究所

結果をグラフ化

著作権の関係から非表示とします

必要な方は、各自で書籍を購入してご確認ください。

「自尊感情を育てるエゴグラムSHE活用ガイド」
日本交流分析協会附属
TA学校教育心の開発研究所

る。

エゴグラムのグラフを読み取り、背景を推測する

著作権の関係から非表示とします

必要な方は、各自で書籍を購入してご確認ください。

「自尊感情を育てるエゴグラムSHE活用ガイド」

日本交流分析協会附属

TA学校教育心の開発研究所

12
10
8
6
4
2
0

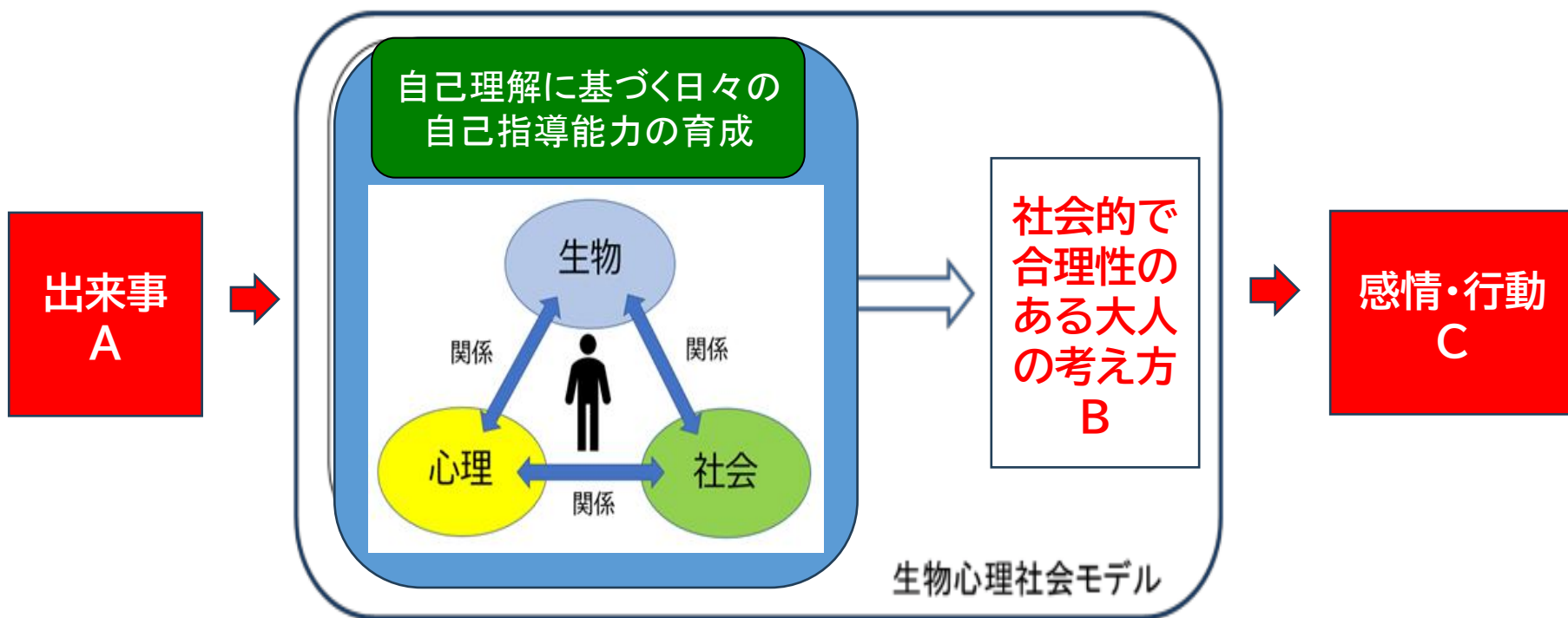
(

理

ま
と

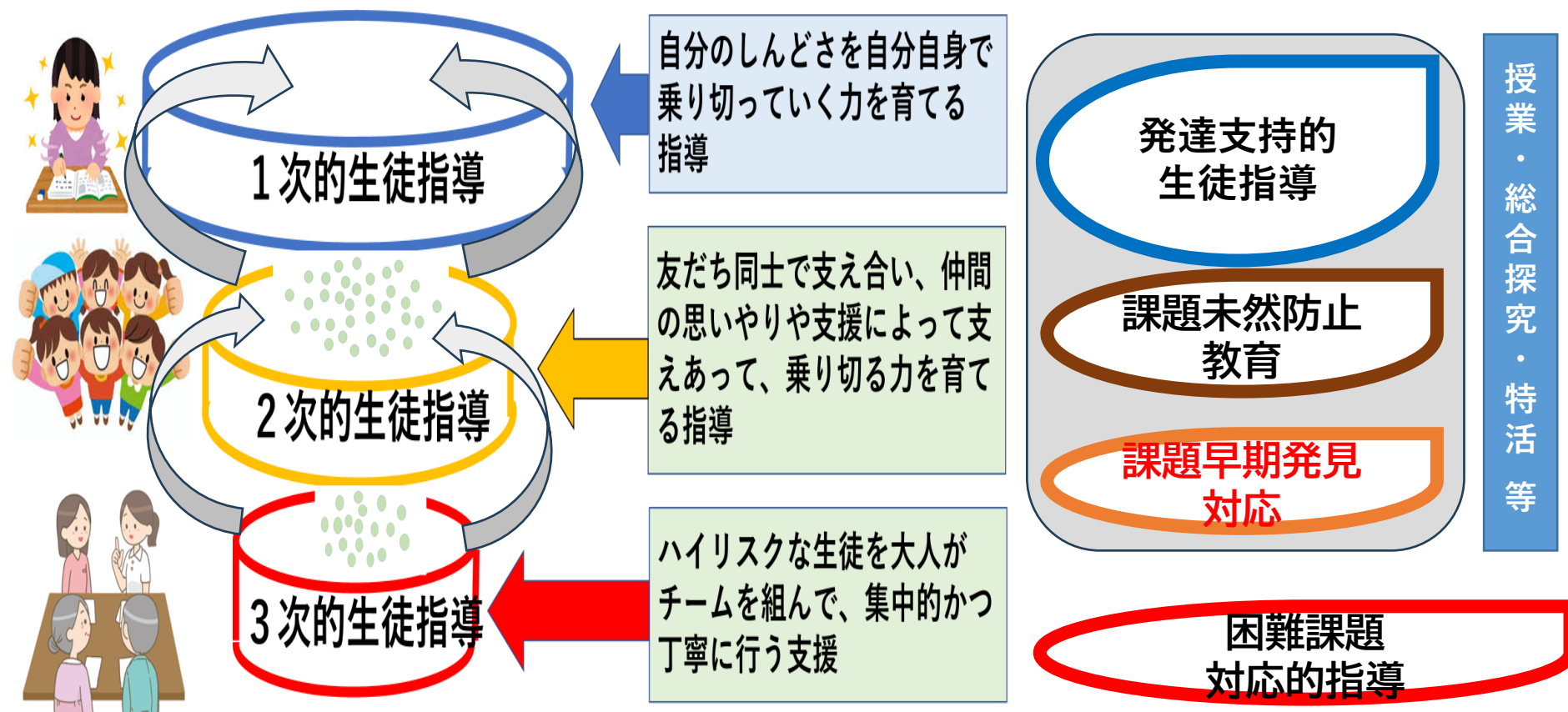
5-1 生徒の主体変容を促す“粘り強い教育”の実現

軟弱地盤の上に「教会」をつくる作業に似て、生徒自身が自分自身の地盤調査、地盤改良に前向きに取り組む必要がある。学校はその指導を問題行動を起こした一部の生徒に留めず、学校全体の生徒に広げる様にユニバーサルデザイン化を進め、プロアクティブな生徒指導に取り組むことで、集団としてグラデュエーションポリシの達成を図る。



5-2 “生徒同士が支え合う集団づくり”を目指す

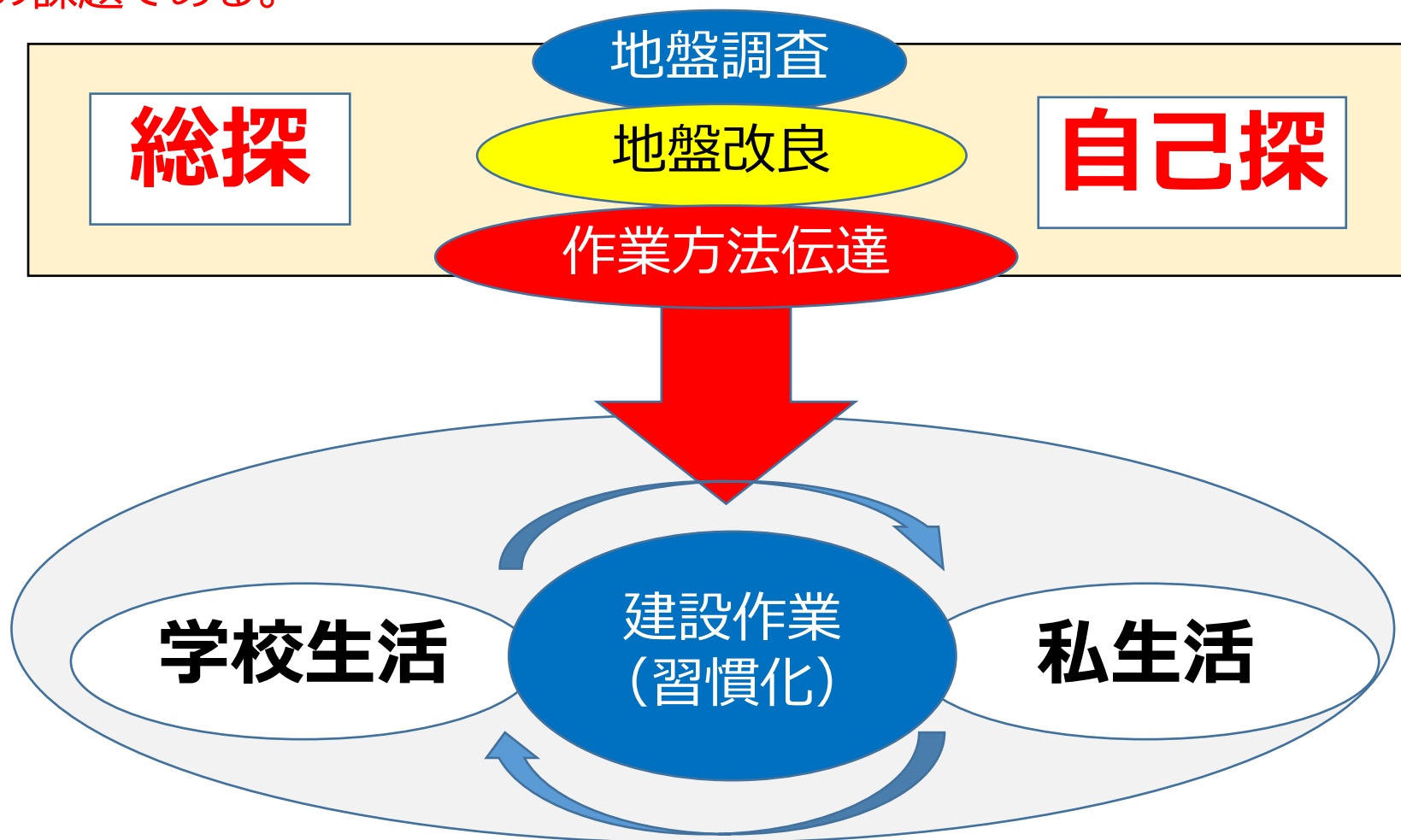
1次的・2次的・3次的生徒指導



- 自分の思考や行動のクセを自己理解し、自己変容を図るように1次的生徒指導を機能させたい
- 温かく思いやるある行動を全員がルーティン行動に組み入れ、2次的生徒指導を機能させたい

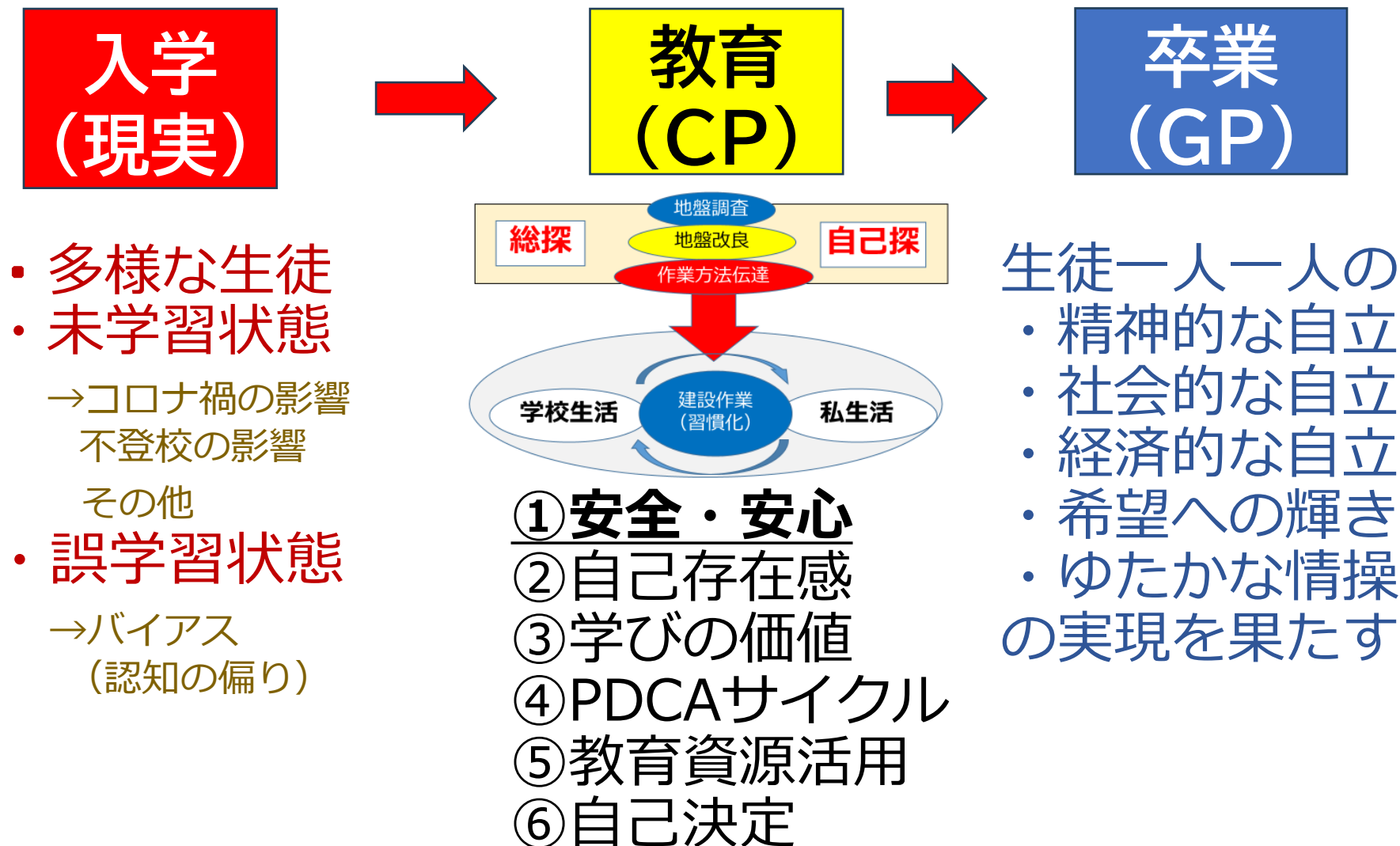
5-3 「総探」「自己探」を軸に教育課程を経営する

本校のグラデュエーション・ポリシー、スクール・ポリシーの目的・価値を、生徒に丁寧に伝え、その目的・目標と指導と評価を一体化させるように、カリキュラム・マネジメントを生徒自身が果たしていくことを目指していくことが、本校の課題である。



5-4 小規模校における特別支援教育のUDL化

●本校は一人一人の生徒に個別最適な指導・支援を系統的に実践し、生徒を自立させていく



（最後に）

・すでにご存じのように、現在の日本の児童生徒の自己肯定感は決して高くはなく、不登校、いじめ、校内暴力、希死念慮や自殺等多くの課題があり、この深刻な状況をどの様に受け止め、対応するとよいのか、教育現場にはそれらに真剣に向きあい、その上で成果の出る教育のあり方を具体的に検討し、速やかに着手する必要性に迫られています。

・そのような中、どうすれば本校の生徒を本校のスクール・ポリシーで示している姿（すなわち「精神的自立」「社会的自立」「経済的自立」「ゆたかな情操」「希望への輝き」）へと導けるのか、真摯に検討を進めてきて、一步一步前進しているところです。

・そして、本校のそれらの教育実践が少しでも教育関係者の皆様方の参考になればと思い、ホームページを使い数多くの情報発信をしていますので、そちらも併せてご覧いただけると幸いです。

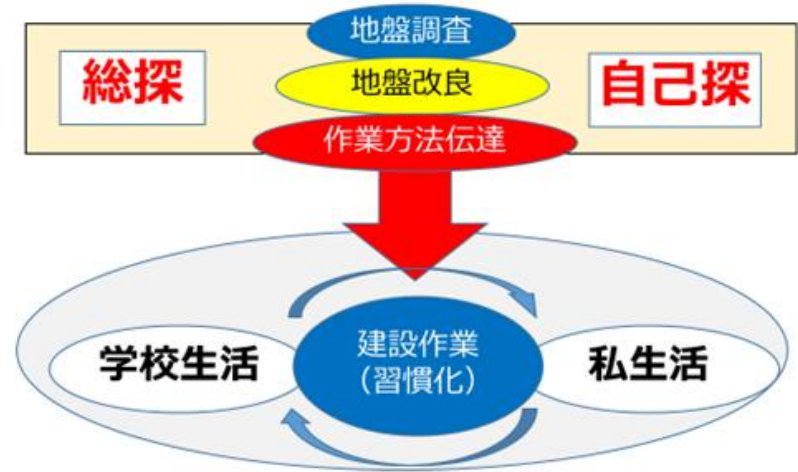
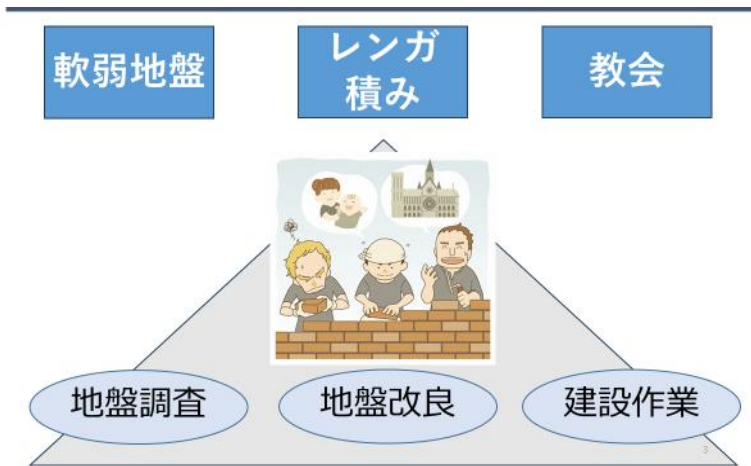
・なお、本研修内容に関する責任はすべて本校にありますので、ご意見やご質問等ありましたら、本校までお寄せください。

宜しくお願い致します。

第2回 特別支援教育 職員研修会

誰一人取り残さず輝かせる教育の実現に向けて

本校は、令和8年度を予測し、教育の成功に向けた準備を進め、多様な生徒を受け入れ、個別最適な教育をユニバーサルデザイン化することで、その生徒の自立を力強く押し進めます！



ありがとうございました。 今後とも宜しくお願いします。



新潟県立出雲崎高等学校